

未来をつくる声が集結

C1グランプリ 2025 現地レポート

vol.
12

2025.07
Summer

千歳会オリジナルメディア

アスサキ

増ページ
特別号



介護の現場には、まだ知られていない工夫と感動がある。
5月24日、日本科学未来館で開催されたC1グランプリ2025は、
そうした現場のリアルな「声」を広く届ける場となった。
5つの事業所の発表に込められたのは、
命に向き合い、人に寄りそうケアの真髓だった。

TOPIC

千歳会をぐるっと交換留学！第12回
「この仕事には、プレゼントのような瞬間がある——
ディサービス編」
新たに開設された「三山園」へ、初めての交換留学！

フレッシュ！ 新人座談会！
法人に新たに仲間入りした4名が集結！

「特別号！」未来をつくる声が集結
C1グランプリ2025 現地レポート
C1グランプリの様子をたつぷりと紹介します！（裏表紙へ）



今回の理事長は、なんと鰻の蒲焼にチャレンジ！？（P2）



三山園のディサービスで、仕事の魅力を語り合いました。（P3-4）



C1グランプリ2025を開催！ 最優秀賞を手にしたのは……？（裏表紙から）

フリーアナウンサー、18歳で母の介護をしていたヤングケアラーでもあった町亞聖さん。
C1グランプリについて、意見交換していただきました。



ひだり ひろまさ
左 敬真 理事長
「C1グランプリ」の生みの親。企画を通じ、現場の魅力と価値を社会に発信し続けている。

まち あせい
町 亞聖さん
フリーアナウンサー。医療・福祉分野を中心に取材・執筆・司会を行い、現場の声を伝える活動を続ける。C1グランプリでは総司会を務めた。

理事長(以下、左) 今年で3回目を迎えたC1グランプリ。介護の仕事は施設の中で終わらせるのではなく、介護職のメンバーが日々大切にしている“ダイヤモンド”を、地域に、外の世界に表現豊かにPRしていく必要があります。C1はその訓練の場として、また、他の発表に刺激を受け、気づきの幅を広げる場として活用してもらいたいです。

町 亞聖(以下、町) 今回のテーマは「挑戦」ということで、エントリーシートを拝見しました。今回は、「自分たちのやっていることを言語化する」という第一段階だと思うんですね。これはやっていかないと身につきませんので、自分たちのケアを外部に向けて言語化することは、定期的に続けることにも意味があります。

左 自分たちの言葉を使った動画での発表も、C1の大きな特徴です。

町 そうですね。動画での伝わりやすさも考える必要があります。例えば、外国出身の職員さんたちには動画のほうが伝わりやすい。あとは、事例発表は結果だけでなく、どうしたら課題を解決できるか全員で考え実行したプロセスを共有することが大切だと感じています。また成功事例だけでなく、失敗から学ぶことも沢山ある。失敗も共有したうえで、みんなで考えるプロセスにも価値があると思います。

左 同感です。僕はすでに第4回を見据えています。今は千歳会と連携団体という枠組みの中でやっていますが、今後は同業者を巻き込んでいき、この輪をより広めていきたいです。

町 楽しみにしています！

町 亞聖さんの
対談の全編は
こちら▶



※取材は5月8日に行いました。

理事長チャレンジ

理事長が現場職員たちのリクエストに応えるチャレンジ企画！

お題 食べる喜びを諦めない！ チャレンジ(鰻編)

板前姿で現れた理事長。今回は、「お客様に季節のものを召し上がっていただく」ために、鰻の蒲焼きにチャレンジ。日本給食・山本社長の指導のもと、いい香りの煙が立ちのぼります。焼き上がった鰻を試食した理事長。「これはお客様にも喜んでいただけそうだ！ 柔らかくて食べやすい」と自ら太鼓判を押しました。これを食べて、暑い夏を一緒に乗り切りましょう！

※鰻は、土用の丑の日に日本給食より各施設のお客様に提供されました。



ちとせ・かわら版 // 12号

「三山園」の開所式と入社式を行いました

このたび、四市複合事務組合様より選定いただき、千葉県船橋市にある「特別養護老人ホーム三山園」を千歳会が運営することとなり、開所式が執り行われました。左理事長からは「入所されている皆様や地域の方々に、これまで以上に安心して暮らせる福祉サービスを届けていきたい」という想いが語られ、和やかで温かい雰囲気になりました。

当日は、ピアノの生演奏と入社式も行われ、新たに加わる職員や役職の変わる職員一人ひとりに辞令と記念品が贈られました。ご列席いただいた関係企業の皆様からも祝辞をいただき、お祝いの重なる晴れやかな式となりました。



地域に開かれた場所として ピアノの演奏会を開催しました



三山園にて、ピアノ演奏会を開催しました。会場は1階ロビーで、特養のお客様やデイサービスのお客様、地域の皆様など、約30名がご参加くださいました。演奏をしてくださったのは、開所式でも素敵な音楽を届けてくださった黒河内かほりさん。

懐かしい名曲が続き、「青い山脈」「高校三年生」「瀬戸の花嫁」「ふるさと」「上を向いて歩こう」など、皆様が口ずさむ場面もありました。地域の方からは「とても楽しかった」「また参加したい」とのお声もいただき、笑顔と音楽に包まれた温かなひとときとなりました。



気持ち新たに！ ユニフォームも一新！

数あるサンプルの中から厳選された新ユニフォーム。ポイントは、伸縮性のある素材で動きやすく、介助中の突っ張りが少ない着心地のよさ。PHSやボールペン専用ポケットがあり、お客様への安全面にも配慮されている点。そして何より「プロらしくて格好いい！」という見た目も重視しました。実際に着用したスタッフからは「動きやすい」との声も。この新しいユニフォームとともに、気持ち新たに三山園を盛り上げてまいります！



千歳会をぐるっと 交換留学!

聞いたひと

おおた のぶえ
太田 伸江さん

デイサービスセンターちとせの介護職員。2020年に入職し、最近では訪問介護の現場にも入り、マルチタスクを楽しみながらこなしている。趣味はお琴、読書。



教えるひと

あさかわ はるこ
浅川 治子さん

三山園デイサービスセンター歴17年の職員。家庭の事情でパート職員として仕事を続けてきたが、千歳会になってから資格取得も検討している。趣味は旅行・温泉めぐり。



三山園デイサービスセンターとは?

2025年4月に千歳会に仲間入りしたデイサービス。

昼間に日帰り利用できる通所サービスを提供。送迎付きで、さまざまなレクリエーションや入浴、昼食、おやつなどを楽しめる。



デイサービスの日常

もともととは認知症の方が通う少人数制のデイサービスでしたが、4月より体制変更のため、29名定員に規模を拡大し、認知症状も問わないというスタイルに。現在は13名ほどのお客様が通われ、午前中はカラオケ機器を使って「ごぼう先生」による介護予防の体操や、入浴介助が行われていました。昼食時、浅川さんはお客様お一人おひとりに声をかけをし、丁寧にメニューの説明をされていたのが印象的でした。運動や歌を歌うことが好きなお客様が多いそうで、カラオケも人気とのことでした。大きな体制の変化にどのように対応されているのか、お話を伺おうと思います。

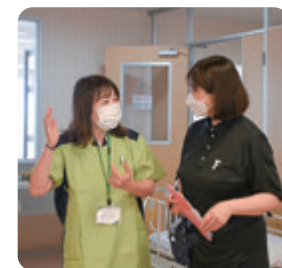
浅川さんの仕事のやりがい

聞けば、浅川さんはこの道17年の大ベテラン。「家が近かったから」と謙遜されるが、お客様への思いやりが接し方や言葉の端々から見て取れました。認知症の方のためのデイサービスだったこともあり「最初はこちらの理解が及ばずに、びつくりすることもあった」と語っていましたが、「お客様が大好き」だと言います。例えば、お客様に拒絶されたときも「何が悪かったんだらう?」と家に帰ってからふりかえることもあるそうです。

新体制となったときにも、一番に考えたのはお客様のこと。「いつも通っている場所の職員が変わってしまったら、不安になると思うから」と、残留を決意されました。今後その経験を活かし、後進を育ててほしいです……!



▲三山園の特徴的なスペース・中庭で。



▲デイサービスちとせで使っている脳トレプリントをお見せしました。

デイサービス内を見学

植物がたくさん立派なテラスへ。浅川さんいわく「お天気がいいときは、外のベンチに腰かけて歌を歌ったり、お花を見て過ごしています」とのこと。車いすのまま出ることのできるフラットな造りが羨ましいかぎり。機械浴1台に個浴が2台ある浴室も見学。お風呂を嫌がるお客様に気持ちよく入っていただくには? という話で盛り上がりました。午後は、機能訓練士によるリハビリとレクリエーションを。レクで行ったお習字は、どれも達筆!

私たち(と書いてしまいましたが)は、本当にお客様のことが好きなんだと実感する交換留学でした。介護をしていると、キラッと光る宝物のような一瞬がある。この「特別なプレゼント」を浅川さんとも共有できた時間でした。



三山園デイサービスセンター
Infomation

所在地
TEL
WEB

〒274-0072 千葉県船橋市三山2-3-2
047-493-2208 E-mail | info-miyamaen@1000.or.jp
https://1000.or.jp/facility/ds-miyamaen/



フレッシュ！新人座談会！

— 介護の世界に入る、きっかけは？

佐口 高校3年で進路を考えていたとき、介護の仕事を知りました。もともとお年寄りに関わることも好きだったし、楽しそうだなと思って。

伊藤 僕も佐口さんと入口は同じで。お年寄りの話を聞くのも楽しかったし、障害を持つ方に関わることもあって。自分の身近に介護があることに気づき、福祉の専門学校に入りました。

久保田 僕ももっと単純で……「栄養学」のテストの点数が一番よかったから(笑)。大学の管理栄養士になるための授業で助手をしていたのが、ちとせ稲毛にいらっしゃる工藤綾佳さんだったというご縁もあって、三山園に入職しました。

永野 私はみなさんとは違って、社会人を経験してからの入職です。とはいえ、介護の仕事は初めてではなく、10年前にやっていました。その後、鉄鋼関係でサラリーマンをしていましたが、介護の仕事の喜びが忘れられず、再び戻ってきました。

— 入職から2か月、働いてみてどうですか？

久保田 ……早番の朝が慣れなくて、つらいです。家が遠いので、3時起きで始発に乗って、職場に着くのが6時。

伊藤 学校で介護技術を一通り学んだつもりになっていたのですが、いざ墨田館に出勤すると、お客様が自分のことは自分でされるので、すこし拍子抜けしました。最初は「ホテルスタッフとして雇われた?」と思ったほど。どこまでご自身でやっていただくか、お手伝いするかの線引が難しいです。

佐口 最近、早番の独り立ちをしました。ユニット10名のお客様に、

朝ご飯の準備や介助を一人でやるのがまだ大変です。その日によって、お客様の状態や起こる出来事も違うので、よく観察して、うまく対応していきたいです。

永野 業務内容についてはそこまで悩んだことはないのですが、一番戸惑ったのが、スマホやタブレットによる記録でした。これまでは手書きしかやってこなかったのに、喋ったことが入力できる音声入力を使いこなすのに苦労しています。

佐口 ……わたしはそこまで苦労していないかもです。

永野 ええ!? さすがです。今度教えてください(笑)。

— 今後、挑戦してみたいことは？

佐口 これから遅番や夜勤のデビューもひかえています。将来的には、ユニットリーダーになり、ゆくゆくはケアマネジャーの資格を取りたいと考えています。

永野 介護の知識と技術的な経験を積んで、さらにステップアップできるように、いろいろな資格取得に挑戦したいです。

久保田 まずは、厨房の仕事や管理栄養士としての仕事を覚えていくのが最優先ではありますが、今後は、管理職として厨房の皆さんをまとめていける、頼れる人になりたいと思います。

伊藤 僕もステップアップを目指したいです。なかでも、佐々木施設長のような管理者になりたいと思っています。普段から積極的に皆さんと関わっており、困ったことがあったらすぐ頼りになる、そんな施設長になりたいです。

— 読んでますか？ 佐々木さん! (笑) みなさんご協力、ありがとうございました。

ながの ゆうき
永野 雄基さん

ちとせ稲毛の介護職員。中途採用で
ジョイン。家族を養うため、
お給料はすべて生活費に。

くぼた ゆう
久保田 湧さん

三山園の管理栄養士。山形県出身。
初任給の使い道は、友だちと
コストコで爆買い・爆食い。

いとう つばさ
伊藤 飛翔さん

ケアハウスこまち墨田館の介護職員。
初めてのお給料で買ったものは、
おばあさまの好物・羊羹。

さぐち ていあな
佐口 彩菜さん

ちとせ小町の介護職員。
初任給は洋服やコスメなどに使い、
友だちとの楽しい時間を過ごした。



▲入社式で、全員そろってパチリ!



▲挨拶をする佐口さん。堂々たるお姿です!



◀ケアハウスちとせ
墨田館の佐々木施設長。

interviewer KUROSAWA

クロサワが行く!

あなたの推しを教えてください。



クロサワ(以下、ク) 鈴木施設長、趣味ってあるんですか？ 鈴木(以下、鈴) {うーん、趣味という趣味はないんですね。休日といえば、子どもたちと過ごしているくらいで……。 ク{お子さんとは何して過ごされるんですか？ 鈴{子どもたちがやりたいことに付き合うことが多いですね。最近では上の息子がもの作りにハマっていて、ウッドパズルって知ってます？ 木のパネルで立体を作る工作キットがあるんですけど、それを一緒に作っています。 ク{(写真を見て)すごい完成度! 鈴{下の娘は、よくお絵描きをしています。 ク{かわいいですね。お子さんとお出かけすることはありますか？ 鈴{出かけますよ。この間は、よみうりランドに行ってきました。千葉といえばディズニーですが、高いので(泣)。 ク{わかります……。 鈴{休みの日に家にいたくないタイプなので、子どもたちと出かけるのは気分転換になっていいです。 ク{素敵なパパですね。 鈴{息子は今小学4年生で、これからどんどん自分の世界が広がっていくと思うし、娘にも嫌われる覚悟を持って生きています(笑)。



interviewee
すずき けんた
鈴木 健太さん

ちとせ稲毛の施設長。2024年1月に入職し、2025年1月に施設長に就任。二児の父で、小学4年生の息子と小学1年生の娘がいる。



千歳会

第16回
介護旅行
イベント

埼玉

42両が展示
鉄道博物館

創業明治十九年 老舗の
浦和のうなぎ

開催日

2025年8月27日水

定員

20名(車いす2台)

※うなぎが苦手な方には天ぷらをご提供します

締切日

開催日の2週間前

参加費

10,000円

旅行場所

うらわのうなぎ「萬店」、鉄道博物館 昼食 国産鰻重、肝吸、香の物付き

対象

ちとせ小町、ケアハウスちとせ、ちとせ稲毛、三山園のお客様とご家族

社会福祉法人千歳会 法人本部
特別養護老人ホーム ちとせ稲毛

〒263-0012 千葉県千葉市稲毛区萩台町50-1
Tel:043-445-7840 Fax:043-445-7832
✉info@1000.or.jp (法人本部)
✉info-inage@1000.or.jp (ちとせ稲毛)

社会福祉法人千歳会 法人本部 分室

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-4-5-3F
Tel:03-6908-7777 Fax:03-5651-7667
✉info@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ北本
居宅介護支援事業所 ちとせ北本

〒364-0001 埼玉県北本市深井3-25-1
Tel:048-579-5110 Fax:048-579-5114
✉info-kitamoto@1000.or.jp

特別養護老人ホーム ちとせ小町
デイサービスセンター ちとせ小町

〒285-0043 千葉県佐倉市大蛇町215-7
Tel:043-312-5111 Fax:043-312-5112
✉info-komachi@1000.or.jp

特別養護老人ホーム 三山園/デイサービスセンター 三山園

〒274-0072 千葉県船橋市三山2-3-2
Tel:047-476-2885 (特養・ショートステイ)
Tel:047-493-2208 (デイサービス)
Fax:047-474-3873

ケアハウス ちとせ/訪問介護ステーション ちとせ
居宅介護支援センター ちとせ/デイサービスセンター ちとせ

〒285-0836 千葉県佐倉市生谷75-10
Tel:043-464-1577 Fax:043-460-5776
✉info-chitose@1000.or.jp

ケアハウス こまち墨田館

〒131-0045 東京都墨田区押上3-61-4
Tel:03-6657-5690 Fax:03-6657-5691
✉info-sumida@1000.or.jp

居宅介護支援センター みはま

〒261-0004 千葉県千葉市美浜区高洲4-1-9 郁栄ビル2F
Tel:043-307-4711 Fax:043-307-4712

アスサキ vol.12 2025年7月25日発行 【発行】社会福祉法人千歳会
【制作】山本 梓/中浜崇之 社会福祉法人千歳会 黒沢優衣 【写真(C1)】阿部雄介 【デザイン】入江阿寿香

く様子は、現場に根差したリアルな説得力があった。

最後は、チャールストン（訪問介護ちとせ）の発表である。施設とは異なり、お客様の家に入り、その生活に寄り添う訪問介護。職員が見逃さない日々の変化、そこに気づき、対応していく姿勢が浮かび上がった。訪問介護が単なる「家事代行」ではなく、人生の伴走者であることが、発表を通じて強く伝わってきた。

受賞の瞬間、

そして仲間と喜びを分かち合う

5つの発表が終わり、いよいよ結果発表のとき。場内には静かな緊張が走る。



11



12



15



13



16



14

そして——2025年度C1グランプリ最優秀賞に輝いたのは、「ちとせ小町」！ 名前が呼ばれた瞬間、会場の応援団から大きな歓声が上がった。発表者の目にはうっすらと涙が浮かび、「めちゃくちゃ嬉しいです！」と喜びを噛みしめた。言葉では言い表せない練習の日々、悩み、迷い、そのすべてがこの舞台上に結実した瞬間でもあった。

登壇した職員たちは皆、口を揃えて「仲間に感謝しています」と語った。発表した人だけでなく、支えた人、見守った人、それぞれが一つのチームとして成し遂げたグランプリ。会場の誰もが「仲間っていいな」と感じたのではないだろうか。

Caption

審査等で関わっていただいた1.町亞聖さん 2.熊谷大輔さん 3.青木太志さん 4.山本英清さん。／5.客席の応援団。／6.オレンジハウス 7.ちとせ北本 8.ちとせ小町 9.のぞみ 10.チャールストンによる発表の様子。／11.最終審査は会場による投票で決められた。／12.左理事長による結果発表。／13～16.結果を受け、喜びを爆発させるちとせ小町のメンバー。

これで終わりではない

C1グランプリは次の挑戦へ

今年で4回目となるC1グランプリは、年を重ねるごとに、より「伝える力」「振り返る力」を育む場へと進化している。単に発表して終わるのではなく、各事業所がこの経験を次のケアにつなげ、未来を切り開く、きっかけとなる場。それがC1グランプリの最大の魅力だ。

「C1やってよかったね」で終わらせるのではなく、「来年はもっとこうしていこう」と、挑戦が循環していくサイクルを築く——それが理事長・左敬真の目指す姿である。

今回の発表が気になった方は、ぜひ『C1グランプリ公式ガイドブック』を手にとっていただきたい。C1の誕生秘話、各事業所のエントリ―理由や、実際の取り組み内容、関係者のインタビューがまとめられており、現場のリアルが詰まった一冊となっている。

そして来年は、どんなドラマが生まれるのだろうか。C1グランプリは、すでに次のステージに向かって動き出している。



『C1グランプリ公式ガイドブック』お問い合わせはこちらまで。郵送させていただきます。

社会福祉法人千歳会 法人本部・分室 TEL | 03-6908-7777 E-mail | info@1000.or.jp

※送料はお客様負担とさせていただきます。



晴天の未来館に響いた、 介護の声と感動

5月24日、東京都江東区にある「日本科学未来館」で、第4回C1グランプリが開催された。科学未来館は、科学技術を社会と結びつけ、来館者に「未来を創る視点」を与える展示とイベントが特徴の施設。この会場での開催も、今年で2度目となる。

天候は快晴。潮風を感じるお台場の空の下、会場には午前中から多くの来場者が集まり、期待と緊張が入り混じる独特な雰囲気となっていた。

入場すると、そこには応援に駆けつけた職員や関係者だけでなく、他法人の同業者や福祉を学ぶ専門学生の姿も。事業所の応援団だろうか。色とりどりのお手製うちわやメッセージボードを手にしており、和やかなムードの中にも、これから始まる発表への期待感が高まっていく。来場者は老若男女を問わず、まさに法人を超え、地域や世代を巻き込んだ一大イベントとなっていた。

堂々たる音楽とともに、

C1グランプリ開幕

午後の開始時刻を迎えると、ホール内に重厚な音楽が響き渡り、いよいよC1グランプリの幕が上がった。登壇した司会者は、フリーアナウンサーとして多方面

かな言葉の一つひとつが、観客の胸を打った。

続く、ちとせ北本の発表は「看取り」に焦点を当てたものだった。人生の集大成を迎える場におけるケアの在り方を、ひとつの事例を通して語られた。お客様の变化を丁寧に見つめ、最後のひとときを尊厳あるものにする努力が詰まった内容であり、その記録の積み重ねが、確かに次のケアにつながっているという手応えを感じさせた。

3番目の発表で、ちとせ小町のメンバーが登場した。熱狂的な応援団は、ちとせ小町の関係者だったようだ。観客から「がんばれー!」と大きな声援が飛んだ。発表では、「国籍を超えたチームケア」をテーマに、外国籍職員と日本人職員が共に成長する様子が語られた。事前の準備の様子が垣間見える丁寧な構成、堂々とした発表の姿勢に、会場も引き込まれる。多様な背景を持つ仲間が一つになること、そのための努力があたりか胸に響いた。

4番目は、介護老人保健施設のぞみによる発表。理学療法士鈴木耕平さんが、嚥下障害をもつお客様と「食いたいもの」を共有し、その後回復へと向かったというエピソードを、自らのことばで語っていたのが印象的だった。生活の中で生きるリハビリを目指し、介護職とリハ職が連携しながら在宅復帰を支援してい

で活躍し、介護や医療の現場にも精通する町亞聖さん。その落ち着いた声とプロフェッショナルな進行は、場内の空気を一気に引き締めた。

続いて紹介された審査員は、いずれも各分野で活躍するプロフェッショナルたち。町亞聖さん（一次審査を担当）をはじめ、「成田国際福祉専門学校」介護福祉学科・専任講師の山本英清氏、「JOINT介護」編集長の青木太志氏、「昭和女子大学」人間社会学部・専任講師の熊谷大輔氏が審査に臨んだ。

主催である左敬真理事長は今回、自らは審査には加わず、「理事長としての色を抜きたい」という想いから、外部の専門家に全幅の信頼を置き、その目に審査を委ねる姿勢を見せていた。

5事業所による

熱いプレゼンテーション

いよいよ、最終選考に進んだ5つの事業所による発表がスタート。今回のテーマは「挑戦」だ。トップバッターを務めたのは、オレンジハウス（ケアハウスちとせ）。プレゼンターの声には緊張の色が見えたが、語られたのは、一人のお客様が亡くなられたという大きな喪失と、そこから職員がどう向き合い、歩みを進めてきたかという、本音である。悲しい出来事から逃げずに、今日の前にいるお客様に向き合う。静

